

令和4年第1回名張市快適環境審議会会議録（概要）

1. 開催日時 令和5年2月22日（水） 午後2時から4時まで

2. 開催場所 名張市役所3階 302会議室

3. 出席者

委員 朴 恵淑（以下 会長）

沖 篤義（以下 委員）

近藤 恵美（以下 委員）

佐野 茂樹（以下 委員）

矢間 孝司（以下 委員）

福廣 勝介（以下 委員）

事務局 地域環境部長 藤野 泰司

環境対策室長 岩田 昌弘

環境対策室 久保 厚史、津田 志穂、城戸 悠馬

4. 欠席者

委員 森永 美紀子

5. 内容

1. 会長あいさつ

2. 第三次なばり快適環境プラン達成状況・実施状況報告

3. 地球温暖化対策事項計画（事務事業編）の報告について

4. その他

○事務局

本日は、「第1回名張市快適環境審議会」の開催にあたりまして、お忙しい中お集まりいただき、誠にありがとうございます。

名張市 環境対策室係長の久保と申します、よろしく願いいたします。

ここで、皆様へ地域環境部長藤野よりあいさつ申し上げます。

○藤野部長あいさつ

地域環境部部長、藤野と申します。よろしく願いします。本日は、お忙しい中、令和4年度の快適環境審議会にご出席いただき誠にありがとうございます。

名張市快適環境審議会につきましては、名張市環境基本条例第12条に規定する市長の諮問に応じて調査審議をいただく大変重要な位置付けの審議会となっており、調査審議いただく内容については、(1)基本計画の策定及び変更に関すること、(2)快適環境の保全、創造に係る重要事項に関することとなっています。

今期の快適環境審議会委員の皆さまは令和3年度から令和4年度までの2年任期となっており、特に昨年度は、快適環境審議会の中間見直しの時期にもあたり、数度の会議の出席や文書や電子メールなどでのご意見の聴取など、大変ご苦勞をおかけしました。

おかげをもちまして、令和4年3月9日に朴会長より市長に対して答申をいただき、SDGsやカーボンニュートラルなど新たな課題に対応した第三次なばり快適環境プラン（改訂版）を策定することができました。

今年度につきましては、すでに年度末であります。各種計画などの見直し時期などに該当していないため、快適環境プランの達成状況などの報告をさせていただき、市の環境施策全般にわたりご意見を賜り、次年度以降の市政運営に反映させていただきたく存じます。本日は、限られた時間ではありますがたくさんのご提言をいただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

1. 会長あいさつ

2. 第三次なばり快適環境プラン達成状況・実施状況報告

○事務局

それでは、「名張市快適環境審議会規則」第5条第1項に基づきまして、会長が、会議の議長となりますことから、これより先の議事進行につきましては、会長にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

○会長

議題に入る前に、あいさつを兼ねてお話させていただきます。一年の長さが早いと考えるこの頃です。名張らしさという観点で、環境基本計画をつくったのですが、新しい委員の方、また今まで一緒におられた方いろんな思いを入れて昨年度の改訂が行われたと考えています。しかし、一点文言を変えなければいけないのかなと思ったのが低炭素社会の事です。改訂から一年間において、脱炭素、カーボンニュートラル、ゼロカーボンシティ等低炭素どころではない事になっております。名張市とほぼ同じ時期に三重県においても広域温暖化対策の仕事がありまして、その計画での文言が、4月1日より低炭素社会から脱炭素社会へと文言を変える予定となっております。また、国が低炭素といった表現を使っていた時には、国は26%の二酸化炭素、温室効果ガスを減らすとしていました。その時、三重県は、30%という目標を設定し、国よりも多くの削減目標を設けており、素晴らしいことであると思っていました。その後、国が46%に設定し、三重県は47%へ引き上げました。今では、三重県は52%の削減を目標に定めており、大変だろうなと思いますが、やるしかないとの思いで進めていかれるものと思います。名張市の快適環境プランについても、しかるべく時期に、低炭素から脱炭素へと、昨年度改定が終わったばかりなのですが、見直していく必要があると考えており、会議の前に、北川市長にお目にかかりましてその話もさせていただきました。また、この快適環境プランは、前市長のときに作ったものですが、北川市長にも次のステップに進めるためにも、一日でも早くゼロカーボンシティ宣言をお願いしますと申し上げたところ、お考えいただけるとの回答を得ました。

今日は、今までの活動内容に関して評価する時間はそんなに多くかからないと思いますので、残りの時間を委員の皆様の色々なお話を頂こうと考えております。

事項書により順番に事務局より説明を頂き各委員の皆さまのコメントを頂きたいと思えます。事務局よろしくお願ひいたします。

○事務局

本日の会議については、概ね午後4時を予定終了時間としたいと思えます。よろしくお願ひいたします。

第三次なばり快適環境プラン及び事前にお配りした「R3達成状況・実施状況報告書」を基に説明させていただきますが、また、「R3達成状況・実施状況報告書」につきましては、全33ページございますが、本日は限られた時間の中で、委員の皆さまからたくさんのご意見をいただきたく存じますので、主に各指標の達成状況のみのご説明をさせていただき、第2章の各室の具体的な実施内容である各施策項目については、割愛させていただきます。ご意見等ございましたら、メール等でコメントを頂けたら幸いです。

それでは、時間の関係上、要点のみの説明とさせていただきます。まず、市民・団体による活動の推進といたしまして、具体的な指標で示しておりました地域づくり組織で行う環境に関わる事業を行った回数という事で、プラン作成時は、90回だったものをもっと増やしていくという形で中間目標110回、最終目標125回を目標としておりますが、令和3年度の実績値は95回となりました。それ以降も同様の理由が考えられますが、コロナ禍で活動を控えられている組織がたくさんありましたことが原因と考えられます。

地域等ほかの主体が実施する環境活動への参加件数ですが、これもクリーン大作戦という毎年6月に開催されるごみ拾いイベントをさせて頂いておりました、周辺の事業所に参加をさせて頂いておりましたが、11件と目標に届かない結果となりました。これにつきましても、コロナ禍を理由に遠慮された事業所が多かったためこのような数字となっております。学校・地域等へ環境学習会の講師として出向く回数及び受講者数という事で、小学校4年生を対象に学校等へ環境学習をさせて頂いています。各学校へ広めていく目標ですが、令和2年度は実質0回、令和3年度はコロナ禍の状況も幾分改善したため、8回という実績となっております。コロナ禍でもありますので、オンラインで行える仕組みづくりを昨年度させて頂き、DVDも作らせては頂いておりましたが、対面で授業してほしいというお声が多く、目標が達成できませんでした。続きまして、安全な水の供給という事で、総トリハロメタン濃度水質基準化など、水に関する項目が続きますが、いずれも目標を達成出来ています。BODにつきましても、昨年度委員の方にご指摘を受けましたとおり1.0といった最もきれいな指標となっております。次に、土壌汚染の未然防止と監視につきましても、土壌における鉛の含有量、八幡工業団地周辺の数字が120mgと、多い数字となっております。検査の時点では、オーバーしている数字となっておりますが、鉛は自然界に元からあるものであり、雨等の気象条件でも変わってくるということではありますが、市として注視して行かなければならない数字であると考えております。

続きまして、自動車騒音・臭気に関する数字ですが、いずれも目標値を達成という事で苦情等の数も年々減少しています。

清掃活動や自然保護活動により、名張市の環境が良くなっていると感じる市民の割合につきましては、毎年1回行われます市民意識調査において抽出している数字になります。こちらにつきましては、おおむね目標を達成しており、環境が良くなっていると感じて頂いているという数字がでています。

続きまして、環境保全協定の締結事業所数ですが、名張市の事業所につきまして環境保全協定または、公害協定を結んでいただいている事業所が多くございます。数字としては目標に足りませんが、昨年度は八幡工業団地の事業所すべてと公害防止協定を結んでいただいたものを、さらに一歩進んで環境保全協定へと見直しを行いました。

家電リサイクル法対象の不法投棄物処理台数ですが、今回9台とかなり目標より少ない数字になっていますが、大きなごみ拾いイベントがコロナ禍で十分に開催出来なかったため、この数字として表れていないだけで、まだまだ、不法投棄はたくさん散見されますのでこの数字にあまり一喜一憂せず今後も啓発や不法投棄のパトロールなどが必要です。

名張川納涼花火大会における一人あたりのごみの重量につきましても、コロナ禍で中止でしたので数字がありません。

市内で発生する廃棄物が適正に処理されていると感じる市民の割合につきましては、市民意識調査からこの指標自体が無くなってしまったので、未記載となっております。

市の地球温暖化防止対策の推進の市の事業所に係るにCO2排出量については、目標値11,893tの中、11,302tと目標を達成できており、令和8年度の目標値もクリアできるものと考えます。

エコ通勤のCO2削減量は、目標未達成となっております。年2回エコ通勤を市役所で行うと定めてありますが、昨年度コロナの関係で1回しか出来なかったため予定よりも削減量が少なくなりました。

その他につきましては、名張市の快適環境プランの特徴ではありますが、文化の部分や安心安全なまちづくりといった部分の指標が入っております。交通安全啓発活動等への参加人数につきましても、コロナの関係で参加出来なかったり、中止になったりと、達成できていないところもあります。学校給食における名張産食材を使用する割合についても、昨今の食材の価格高騰などにより数字的には目標未達成となっております。地震等の災害への備えをしている市民の割合につきましても、目標未達成となっております。

○会長

ありがとうございました。只今の説明に関しまして、委員の皆様コメント、質問、ご意見等よろしく願いいたします。

○会長

一点確認をお願いいたします。

再生可能エネルギーの導入促進について、太陽光発電による市内の年間発電量が調査

中となっていますがいつ頃分かりますか。

○事務局

今年度末には判明する予定です。

令和2年の段階の数字でも速報値として教えて頂いたのが4万kWhほどと、この計画を立てた時より加速度的に太陽光発電の建設が進んでいます。

○会長

太陽光発電に関しては、17年後・20年後どうするのかと色々な事がありますが、化石燃料によるエネルギー源に比べて、今後、再生可能エネルギーは増えていきます。名張市は、再生可能エネルギーに関しても計画がありますので、なるべく早く数字を出してもらいたい。

○委員

ごみの適正な排出という事で、伊賀南部クリーンセンターで火災が頻繁に起こっていますが、住民への説明がちゃんとできているかどうか。このあたりは、どのように考えていますか。

○事務局

令和2年度に火災の修繕が終わりましたが、2億円以上のお金がかかりました。その実態、経過等を名張市広報などにより周知し、火災の原因であるスプレー缶やリチウムイオン電池などの分別の徹底をお願いさせていただきました。また、収集品目に小型家電を増やし、燃やすごみ・燃やさないごみの中に混在しないようにさせて頂いています。3月の広報では、手作業で分別している写真をのせ、市民の方にごみ収集の実態を分かっていたかどうかという事に取り組んでいます。

○委員

木津川上流河川事務所の事業で名張かわまちづくりがあります。宇陀川と名張川の合流地点に流れにくいところがあります。流れにくいところの堤防を引いて名張川を良くする事業になっています。上面整備は、名張市がすることになっていますが、この場所をどのように生かしていくかが名張市として決まらないとなかなか整備が決まっていけない中で、この快適環境プランにも載せて、将来ここを拠点として、子ども達の遊び場にしたり環境学習をしたり賑わいづくりをしようと思っておりますので、将来このプランが続くのであれば、3-1-3-1 自然とのふれあい増進の所に名張かわまちづくりという言葉を入れて頂きたい。

○事務局

市としましても、来年度木津川上流河川事務所などと一緒に名張かわまちづくりも含めた環境イベントを11月に行う予定であります。工事の進捗とあわせて、それもPRしていきたいと考えています。また、名張かわまちづくりの文言追加などについては、次回の見直し時に検討してまいります。

○会長

土壤汚染の未然防止と監視の土壌における鉛含有量の数値について高すぎるのではない

か。

○事務局

周辺の工場で、鉛を使っている工場はないため、流出の可能性は少ないと考えております。鉛は元から自然界にあるものであり、雨などの影響により数字が上がる可能性があるということですので、注視する必要があると考えています。

環境保全協定を各事業所と結んでおり、各事業所で基準を設け、決められた回数報告も頂いております。その数値の中では、ご心配頂くような数字は出ておりません。

あくまで、目標値は52mgではありますが、土壌汚染対策法で、土地の含有量の基準は150mg以下ですので基準範囲内ではあります。

3. 名張市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の報告について

○会長

地球温暖化対策実行計画の報告について事務局説明をお願いします。

その後、事項書2.3合わせての質問ご意見ををお願いします。

○事務局

名張市地球温暖化対策実行計画の説明をさせていただきます。第三次快適環境プランの見直しを受けて名張市地球温暖化対策実行計画の改定を行いました。名張市地球温暖化対策実行計画の進捗につきまして、6ページの名張市地球温暖化対策実行計画の進捗によって、平成28年度基準から令和3年度にかけて温室効果ガスの排出量は、18.2%削減されました。今後、昨年度快適環境審議会で定めて頂きました二酸化炭素の排出量が、2026年度には10,000t-CO₂と定めていますので、目標値に合わせた取り組み内容で計画させてもらっています。今回は、時間の都合上、配布のみにさせていただきます。

○委員

コロナ禍で事業が実施できなかったということで、今回の温暖化対策も、令和3年度のコロナ禍での状況というのも考えなければいけないです。コロナ前と同じ生活になるのか、コロナ禍で出来ないのか、違った形で他の事業が為されていくのか。そのような事があまり伝わってこないように感じます。そのあたりは、どのように考えていますか。

○事務局

基本的には、コロナ前の生活が戻るのを前提に作成をしています。

○委員

社会生活も前の形に戻るとなると、ごみの排出量や移動量なども増えていきます。コロナ禍だったので、この数字に収まっていますが、これが評価として良いのかどうか、少し危機感を持っていた方が良いのではないかと思います。

○事務局

エアコン等は、換気をしながら使用をしており電気使用量が増えていますが、一方で交通面を考えると、オンライン会議が増え、出張などが少なくなっています。ごみの量につき

ましては、在宅等により増えました。

○委員

表 2-2 活動別温室効果ガス排出量で燃料（公用車以外）の使用は、何が増えているのでしょうか。

○事務局

こちらにつきましては、電気の使用量が全体的に減りました。割合として増えているだけで燃料の使用は量的には変わりません。電気の使用量につきましては、換算比率が変わっており、電気を作るのに二酸化炭素がクリーンエネルギーなどに置き換わってきたため、係数が変わり二割減ったようになっています。減少はしておりますが、実際の使用量が二割減ったということではありません。

○委員

名張市地球温暖化対策実行計画の中で、2013年を基準に削減率等をおっしゃられていますがこれは、名張市役所のことでよろしいですか。快適環境プランの令和3年度の事とのつながりを考えますと名張市地球温暖化対策実行計画は名張市全体のことでしょうか。それとも、名張市役所のことでしょうか。

○事務局

市の公共施設の部分のみとなります。

○委員

そうすると、快適環境プランの令和3年度の数字では、市民が取り組まなければならない事、企業が取り組まなければならない事等もかかれています。私どもの会社が、一定の方向性を持った時に二酸化炭素削減率が出てきたりします。それはどうなりますか。

○事務局

名張市地球温暖化対策実行計画の事務事業編ではなく、広域編を作ることとなっております。広域編には、事業所の数値を盛り込んだものの目標を作りなさいと国から示されています。名張市では、まだ広域編が作れていない状況があります。

○委員

私どもの会社では、東京証券取引所の基準のプライムに順応している会社は、環境の部分の数値目標を出さなければならない。数値目標が出せない。私たちがやろうとしているのは、2013年を基準に増えるものと減るものがある。小学校の空調を入れるという話では、使用電力は増えます。私どもの会社も、作業環境を良くしようとすると、たくさんの電気代がかかりこれをCO2に換算すると数字が増えます。これでは、絶対に減らないと話しています。ところが、増えるものと減るものを分けて減らすために何をするか。たとえば、蛍光灯を一定の計画の中で全社全部LEDにしようと計画しました。設備の本体耐用年数を10年としますと、その間に設備投資した機材はそこそこの省エネになります。しかし、それ以前に入れた設備を先端設備に変えようとすると億単位の費用がかかります。これを、一度に行うわけにはいきませんので、年間計画立て目標を出し、CO2削減の換算値に基づいて計画を立て

て行います。身の丈に合った形で、一つ一つ取り組んで行き、まずは手の届く範囲である必要があるというのが私どもの考えです。身の丈に合った課題というのを各所で洗い出しそれを集約していくという事になるだろうと思います。

一方で3-1-1-1 農地の保全では、取り組み課題の有機農業とありますが、どのような有機農業か。私どもの業種としては、面白い課題です。CO2を発生させないという事ですが、土壌から発生するんです。研究されている方によると、稲作の豊作の時期にCO2が多く発生するとのこと。収穫を終えた藁を裁断して土に混ぜていると思います。あれが原因です。ではどうするかと言いますと、土に混ぜないようにし、牛の餌にします。それを食べた牛の糞を堆肥にする。その堆肥を土に混ぜ込む。これは、国が強く推進をしています。これを環境の問題入れますと、話が広がるのではないかなと思います。

当社も農水省の指針の中で、食料の自給率の向上を強く意識しています。

○会長

ヨーロッパでは、食品ロスを経済資源にする事を、エコフィードといいます。そのエコフィードで育った豚がいます。捨てればごみ、分ければ資源の一つになりますが、その中で考えていたのが意識をどう変えるのかも大事なかなと思います。

委員の我々も総出で講師を務めて、実際にどのような事をやっていけばよいかなどを伝えていく必要があると考えています。また、市のホームページはリンクばかりで面白くない。ホットな〇〇といった名張ニュースなど、目からウロコのような話題提供等市のホームページの在り方も考えてほしいと思います。

○委員

この報告書は、市民の方が毎日見てくれたらうれしいが、市民に公表されますか。

○事務局

ホームページに掲載します。

○委員

少し表が分かりづらいです。回数や数値は、市民の意識の項目と物理化学的な数値の項目が分けて書かずに一緒に書いてあります。快適環境プランの目次ベースになっているので仕方ないとは思いつつ、分かりづらいです。目標値が、以上を目指したり以下を目指したり、以下と以上では、矢印などで表記をしてもらえると分かりやすい。数字の統一もはっきりしてほしい。

森林、里山の保全はやれば、何回やって何ヘクタールなのか引っ掛かりました。

また、名張クリーン大作戦は、何回か提案させて頂いておりますが、全国川ごみネットというものがあまして、拾ったごみの量を周知出来る。登録が必要になるが、レベルアップしてもらいたいと思います。

その下の、都市景観は非常に難しい。同じ景観でも、汚いという人ときれいと思う人がいる。

文化財の項目を入れてもらっているのは、すごくいいと思います。

意識のところでは、便利だからいいのか。新聞で、「不便益」、不便であるから利益が得られると、遠回りしていい街が見つけれられたと、不便益といった意識を市民の皆さんに持ってもらえたらいいなと思います。物理化学数値はすごくむずかしい。エコシステムを入れられるような評価項目、生態系評価を使ったシステムが出来るといいなと思います。

また、自分の実感で言うと、名張川の上流はすごくよくなっています。しかし、親しい土地を失う事を私は、災害だと思います。小さな毎日の自然との触れ合いを失う事は、大きな災害だと思います。これに対する取り組みを環境としてしなければならないと思います。

最後に、CO2 の t 表記は市民の皆様には分かりづらいと思います。私にも分かりません。

この、進捗状況の報告会をしてもらえるのは、素晴らしいと思います。以上です。

○事務局

先ほど教えて頂いた川ごみネットは、登録しようと思います。伊勢湾クリーンアップの取り組みと一緒にさせて頂きたいと思います。

その他については、反映出来る事出来ない事ございますが、数値については色分けの工夫であったりと、以上以下の表記であったりなど、まさにご指摘の通りかと思えます。すぐに改善していきます。

○委員

三重県の方から今後家庭の省エネ、太陽光の省エネで太陽光パネルを昼間使っていたき夜にも蓄電池を利用し貯めた電気を使っていただくという事を、一般家庭の方に広めて頂く必要があるのではないかと施策を考えています。来年度4月以降になるかと思えますが、ソーラーパネルの共同購入などについても検討しているところです。補助金に関しても検討しており、名張市の方で補助金のメニューを設けてもらえないかというお願いをさせて頂いています。情報提供になりますが、費用の面で大きく変わってくるのではないかと思いますので、住んでおられる方の、屋根の上で省エネをしようという形を取れないかなど、県の目標の中の一つとなっております。

それと、三重県の伊賀庁舎のほうで太陽光パネルをおいて昼間使う電力の最適化をPPAと言い、民間の企業を利用して行う事業を考えています。半分程度の電力を庁舎で賄えるのではないかと、それが最適なベストではないか。一般企業にそれを売電も含め運用してもらうという仕組みになります。その計画をしております。カーポートなども活用し、公用車の電気自動車を伊賀庁舎の方で考えていこうということをしてしています。

また、伊賀市の方では、食品残渣について、バイオマス発電を現在2つ行っておりまして、あと1つ出来る予定があります。その点につきましては、エネルギーの使い方として変わってきます。三重県の3つありますが、それがすべて伊賀にございます。三重県では、食品残渣について、食品残渣になる前のものについて、「みえーる」というものを本庁の方で作っておりまして、食べきれないものを別のところで使って頂くなどといった取り組みを進めております。こちらも来年度から注視してやっていく事業になります。三重県も何かしない

と動き出さなければいけないという事で、組織をかえていこうという事でやっております。

環境生活部が私どもの方であります、これを環境共生局という事で、作る予定になっております。そちらの方で、廃棄物を含め地球温暖化も合わせて、大気の規制なども含めやっ
ていこうという事で、準備をしている段階です。特に温暖化、カーボンゼロ、カーボンニュ
ートラルと言い方をしていますが、そういった庁舎を目指そうとして私たちも頑張ってい
ると思っておりますので何かできることがあれば、ご支援とかその辺のつながりで作るこ
とが出来るとかなと思います。

○会長

早速一つあります。先ほども市長には話したのですけれども、ゼロカーボンシティ宣言し
てくださいとあいさつの時にあったんですが、全てのものを完璧に整ってからやろうと
思ったらそれは大変なので、市長に上手く宣言をするという事を言っていただいて、一日で
も早くとりあえず宣言をしてほしい。現在17ありますので、三重県29の市町の中では、
どんどん遅くなってしまいう事になるので、西側にはまだありませんので名張市でやってい
ただきますようお願いいたします。

○委員

他にも、庁舎の方LED化も進んでおりまして、今年LEDにしました。ホールのほうがLED
になりまして徐々にLED化を進めています。

○会長

そういうところを名張市でもして頂いて、5年10年かからないといけないのかもしれ
ないけども、電気代がこのように高騰している中で、どのようにしていくのかの見える化を
して頂いて、市民にこのような事もやっているという身近なアピールをして頂いてことも
必要ではないかと思っておりますので、よろしくお願ひしたい。

では、これもちまして令和4年第1回名張市快適環境審議会を終わらせて頂きます。
ご協力ありがとうございました。